

- ・平成30年度に工事発注する官庁営繕費の全ての新築工事で施工BIMを発注者指定で**試行的導入**。
- ・その他の全案件についても、受注者の提案に基づき施工BIMの活用が可能。(他省庁からの支出委任案件や改修工事を含む)

## 発注者指定で施工BIMの試行を実施

平成30年4月10日以降に入札契約手続きを開始する官庁営繕関係の新営工事に適用

実施内容：発注者指定で施工BIMの試行を実施、省人化効果等を検証。

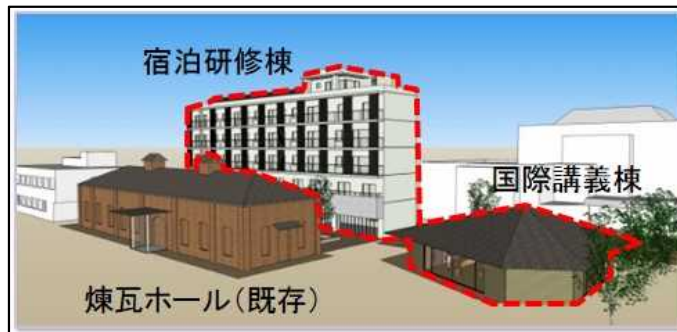
対象工事：平成30年度に発注する新営工事（官庁営繕費）であってS型※2で試行

※2 S型：入札契約方式が技術提案評価型S型を指す。

(発注者が標準案に基づき算定した工事価格を予定価格とし、その範囲内で提案される施工上の工夫等技術提案と価格との総合評価を行う方式)



栃木地方合同庁舎(4/12公告)



海上保安大学校国際交流センター(5/31公告)

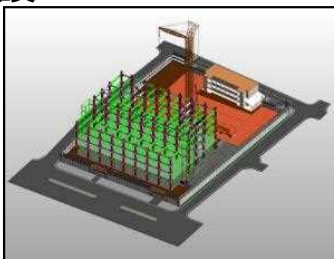


高山地方合同庁舎(6/27公告)

## 施工BIMの試行項目

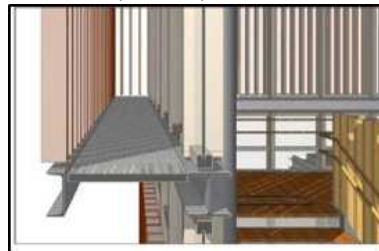
以下のような活用事例について施工BIMを試行的に導入し、多様な関係者間の遅滞ない合意形成を行い、その**省人化効果等**を検証。

### 仮設BIM



例：足場計画及び揚重計画

### デジタルモックアップ



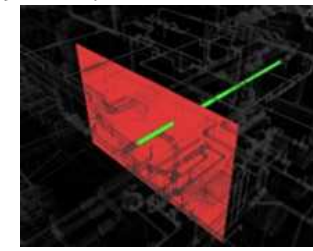
例：木製ルーバーとキャットウォーク納まり検討

### 吹出・照明類の位置調整



例：電気・空調・防災設備の位置を検討 ※3

### 干渉チェック



例：配管と壁の干渉部分の可視化

※3 図の出典：(一社)日本建設業連合会「施工BIMのスタイル事例集2016」